

SRAX

HEAT STERILIZATION SYSTEM

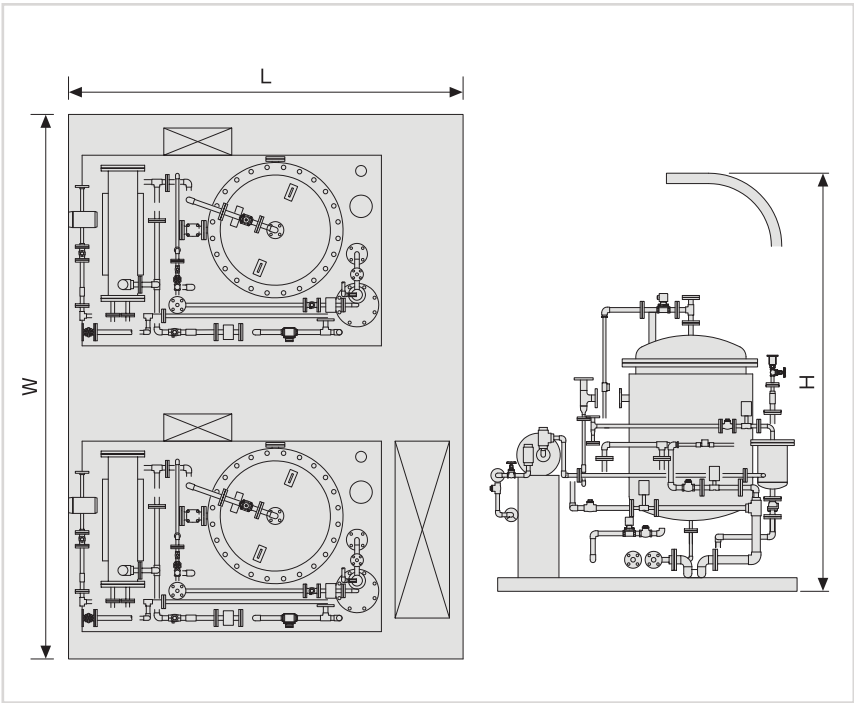
■ 滅菌槽仕様

型 式	SRAX-250	SRAX-500	SRAX-750
処 理 対 象	要滅菌排水（但し、固形物は除きます）		
処 理 能 力	0.25m ³ /時間	0.5m ³ /時間	0.75m ³ /時間
処 理 方 法	高圧蒸気による加熱滅菌法		
電 源	AC200V-3φ		

■ 滅菌槽仕様

型 式	SRAX-250	SRAX-500	SRAX-750
缶 体 構 造	第一種圧力容器		
材 質	内 筒	ステンレス鋼板 SUS 316L	
	外 筒	ステンレス鋼板 SUS 304	
耐 圧	内 筒	0.3MPa	
	外 筒	0.3MPa	

■ 外形図



■ 寸 法

	SRAX-250	SRAX-500	SRAX-750
W (mm)	4000	4000	4500
L (mm)	2900	2900	3400
H (mm)	2800	3100	3200



進化を遂げたバイオハザード対策。
加熱滅菌処理の最高峰、
省エネ型連続廃水加熱滅菌処理システム。

省エネ型

連続廃水加熱
滅菌処理システム

スーパーステライザー
SRAX (特許取得)

HEAT STERILIZATION SYSTEM



株式会社エンバイシス

⚠ 安全に関するご注意

- 1/廃水は、人体に害を及ぼす危険があります。むやみに触れないよう、また、触れる場合は、保護具を着用してください。
- 2/感電防止のため、制御盤の必要操作部以外はむやみに手を触れないでください。
- 3/機器類の整備は必ず停止中に行ってください。

株式会社エンバイシス <http://www.envisys.co.jp/>

本 社 〒670-0972 兵庫県姫路市手柄2丁目121番地
TEL:079-234-1804 FAX:079-233-0395

大 阪 支 店 〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2丁目2番1号 東梅田八千代ビル3F
TEL:06-6360-1266 FAX:06-6360-1277

東 京 営 業 所 〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目10番11号 写真製版会館4F
TEL:03-5226-2571 FAX:03-5226-2574

技術研究所・工場 〒671-2134 兵庫県姫路市夢前町菅生潤923-2
TEL:079-335-3378 FAX:079-335-3141

福 岡 出 張 所 〒812-0043 福岡市博多区堅粕5丁目6番21号 ノアーズアーク博多北603号
TEL:092-292-5755

※仕様及びデザインは予告なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。

ワンランク上を追求するエンバイシスが、
加熱滅菌処理技術に新たな可能性をプラスしました。
新開発の「省エネユニット」により、ランニングコストを
従来よりも大幅に削減したSRAXの誕生です。
より高度に、よりスピーディーに、そしてより省エネルギーで・・・。

近年、国内で社会問題となっている、O157※¹や高病原性鳥インフルエンザの流行。世界に目を向けると、SARS※²、エボラ出血熱など、未知の新興感染症が出現しており、国際交流の活発化や航空輸送の迅速化に伴い、国内に持ち込まれる危険性が高まっています。さらに、マラリアなどが再興感染症として再び問題化するなど、感染症が新しいカタチで人類に脅威を与えています。このような感染症の対策として、法律が施行され、感染系排水に対する排水処理設備の必要性が、初めて法律上に明記されました※³。第一種感染症指定医療機関に限らず、様々な医療機関での感染系排水に対する排水処理設備が必要とされているのが現状です。バイオテクノロジー分野でも、遺伝子組み換え実験に対する安全強化策としての法律が施行されています※⁴。エンバイシスは、実績に裏付けられた排水滅菌処理システムにより、バイオハザードから人々の安全な暮らしを守ります。「信頼度の高い確かな処理システムだからこそ、初めて実現できることがある」…エンバイシスは、もう次世代へ向けて走り出しています。

※1: 腸管出血性大腸菌感染症

※2: 重症急性呼吸器症候群

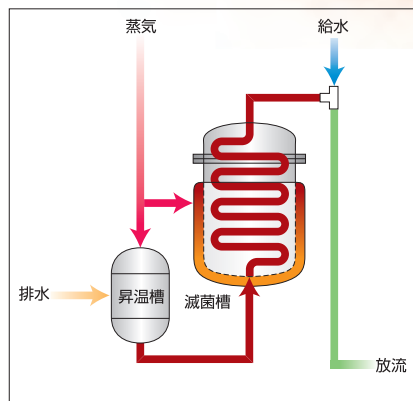
※3: 「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律」平成11年4月施行。ここには、第一種感染症指定医療機関の指定条件として、専ら特定区域のための排水処理設備（感染性の排水を消毒または滅菌できる施設のこと）を有することと記載されている。

※4: 「生物の多様性に関する条約のバイオセーフティに関するカルタヘナ議定書」が平成12年1月に採択される。これに伴い、平成16年2月から「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」が施行された。



合理的な連続処理方式を採用

- 滅菌ユニットに連続処理方式を採用することにより、従来の回分式に比べ、さまざまなメリットが生まれます。
- 省エネユニットが採用出来るため、蒸気と冷却水を大幅に削減します。
- 同じ処理能力では、装置の大幅なコンパクト化により、製造コストが削減されました。また、省スペースに加え、工場でのユニット出荷と工期短縮を可能にしました。
- 大容量処理が可能となりました。
- 運転サイクルの中で、滅菌槽の急激な温度変化が少なく、耐久性が格段にアップしました。



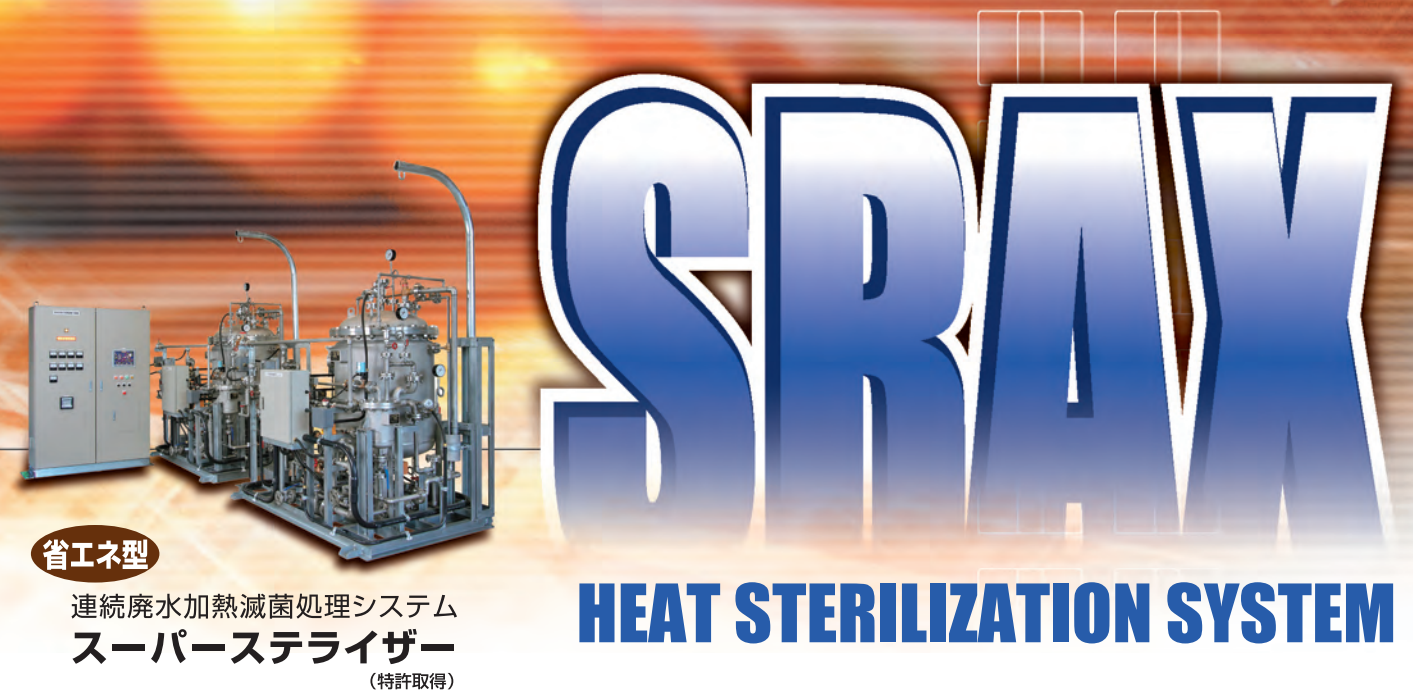
滅菌ユニット

人と環境に優しいSRAXの確実性

- 廃水の受け入れから滅菌処理後の処理水放流まで、コンピューター制御による全自動運転なので、運転管理も容易に行えます。
- 消毒剤を使わない滅菌処理後の処理水は、残留毒性が無く、環境に負荷を与えません。

さらに進化した高度な処理システム

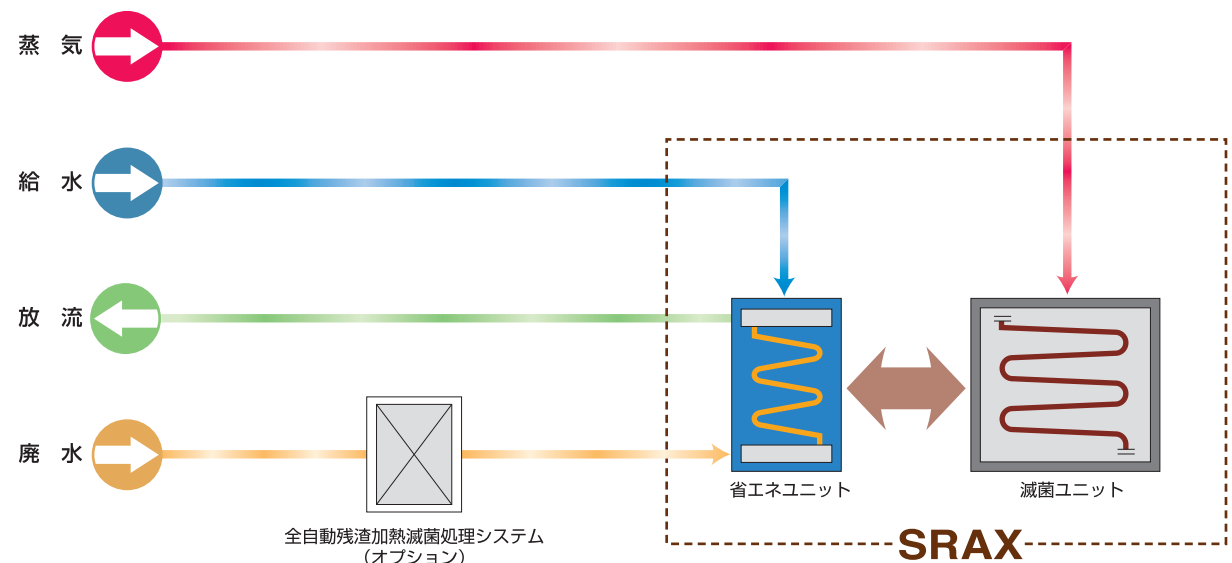
- 121℃～134℃の滅菌温度と滅菌時間20分をフィードバック制御で保証。これにより、廃水中の微生物は確実に死滅します。
- 制御盤には、タッチパネルを搭載。優れた操作性・視認性に加え、温度・圧力・流量などのプロセス値のロギング機能や警報履歴機能が付いています。また、ロギングデータや警報履歴データはCFカードに記憶でき、容易にパソコン上で管理できるため、保守・管理面において便利なツールです。
- 廃水中に残渣の多い場合は、全自動残渣加熱滅菌処理システム（オプション）がカバーします。SRAXとのシステムアップは、感染性排水処理を、ほぼ完璧なものへと導きます。



省エネ型

連続廃水加熱滅菌処理システム
スーパーステライザー
(特許取得)

■ フローシート



■ 処理方式

廃水は原水槽に流入し一時貯留されます。その後、ポンプにより連続的に省エネユニットに移送されます。省エネユニット内で廃水は、高温処理水により約30℃ほど昇温されます。次に、滅菌ユニットに移送された廃水は、121℃以上に昇温後、滅菌用管路を121℃以上に保持された状態で20分以上滞留することにより滅菌処理されます。滅菌を完了した廃水は連続的に滅菌ユニットから省エネユニットを通じて排出され、冷却処理後、放流されます。

■ 全自動残渣加熱滅菌処理システム(オプション)

感染系排水は固形物を含有するケースが多く、固形物に対しより慎重な滅菌が必要となります。この重要なプロセスを全自動で可能にする全自動残渣加熱滅菌処理システムは、廃水中に含有する固形物を密閉状態で分離し、分離固形物に対しより高度な加熱滅菌処理を施します。分離廃水は、後段のSRAXにより加熱処理が施されます。